

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立広小学校
(広中央中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	+3.2	-1.0	+1.9
令和6年度	+3.3	+1.6	-
令和5年度	+1.8	+0.5	-
令和4年度	+3.4	-0.2	+3.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い 方</p> <p>情報の扱い方</p> <p>我が国の言語文化</p> <p>話すこと・聞くこと</p> <p>読むこと</p> <p>書くこと</p> <p>●--- 全国平均 ■--- 県平均 ---× 本校</p> <p>本校 <u>70%</u> 全国 <u>66.8%</u> 県 <u>69%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(設問2三)【書くこと】(平均正答率 55.2%)</p> <p>◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文章を読み取る際には、目的に応じた根拠となる文章中の言葉を見付けることを意識させる。また、低学年のうちから条件を定め、文章を書く練習を定期的に行う。</p> <p>◇自分の考えが伝わるように、理由と根拠を明確にして表現する活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問2三)とその類似問題(第5・6学年, 1月)目標70%</p> <p>◇自分の考えが伝わるように、理由と根拠を明確にして表現する問題(単元テスト等, 全学年)目標50%</p>
<p>算数</p> <p>数と計算</p> <p>図形</p> <p>測定</p> <p>データの活用</p> <p>変化と関係</p> <p>●--- 全国平均 ■--- 県平均 ---× 本校</p> <p>本校 <u>57%</u> 全国 <u>58%</u> 県 <u>59%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎方眼上の五つの図形の中から、向かい合う2辺のうち少なくとも1組が平行な四角形が台形であることを理解し、選ぶことに課題がある。【図形】(設問2(2))(全国平均との差-8.8)</p> <p>◇図形やグラフから必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて考えを記述することに課題がある。(平均正答率58.4%, 全国平均との差▼18.5%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎三角形や台形など図形の定義と性質を理解させ、実際に作図させる活動を設定する。</p> <p>◇グラフの傾きや交点が表示する数量を、単位に着目して考える活動を繰り返し設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問2(3))とその類似問題(第4~6学年, 2月)目標80%</p> <p>◇グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題(第3学年, 学年末試験)目標65%, (第2学年, 習熟度テスト)</p>
<p>理科</p> <p>エネルギー</p> <p>粒子</p> <p>地球</p> <p>生命</p> <p>●--- 全国平均 ■--- 県平均 ---× 本校</p> <p>本校 <u>59%</u> 全国 <u>57.1%</u> 県 <u>59%</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎ヘチマの種子が発芽するための必要な条件について、条件を制御した実験の方法を計画し、表現することに課題がある。【「生命」を柱とする領域】(設問3(3))(正答率60.9%)</p> <p>◇課題解決のために仮説を立て、それらを調べるために実験を計画し、検証することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら調べる活動を設定する。また、植物の育ち方だけでなく、条件が全て同じで1つだけ異なる条件制御の実験を様々な授業で仕組む。</p> <p>◇単元の中に探究のサイクルができていないか、授業者が意識して単元計画を立て、課題解決のために実験の計画を立て、検証する活動を繰り返し設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3(3))とその類似問題(第4~6学年, 2月)目標80%</p> <p>◇課題解決のために仮説を立てて実験を計画し、検証することができるかどうかをみる問題 目標50%</p>

【来年度に向けて】

国語科においては、自分の考えが伝わる文章になるように、理由と根拠を明確にして表現する活動を取り入れ、目的や意図に応じて自分の考えをまとめる力の向上を図っていく。算数科においては、グラフの傾きや交点が表示する数量を、単位に着目して考える活動を繰り返し設定することで、図形やグラフから必要な数値を読み取ったり、言葉と数を用いて考えを記述したりする力を育成していく。